

FY2015 2Q Financial Results

2015年4月期2Q
決算説明会資料

株式会社フルスピード

Full Speed Inc.

Dec 12th 2014

Topics

	01 エグゼクティブ・サマリー		Executive Summary	3
	02 ビジネスの概況		Business Overview	11
	03 FY2015 2Q 決算の状況		FY2015 2Q Financials	34
	04 各事業のトピックス		Topics by Segment	37

Appendix

	フルスピード社 会社概要		About Full Speed Group	41
	中期経営計画サマリー		Mid-Term Strategy Summary	45



エグゼクティブ・サマリー

Executive Summary

フルスピードグループが目指している一つのこと。

ネットライフを豊かにする広告を。

Ad Technology & Marketing Company

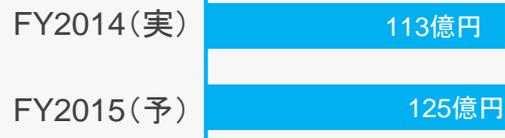
“より良い広告の仕組みを生み出すことは、ネットユーザーのネットライフをもっと滑らかで、今よりも豊かなものにする。”
との事業コンセプトに基づき、フルスピードグループは、“ヒトの心理”と“広告技術”を繋ぎます。



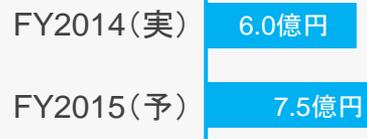
- 会社名 株式会社フルスピード | Full Speed Inc.
- 事業内容 アドテクノロジーの開発及びインターネットマーケティング事業
- 設立 2001年1月4日
- 資本金 8.9億円
- 上場月 2007年8月（東証マザーズ上場）
- 年商 113億円（※2014年4月期 連結売上実績ベース）

会社業績

売上高



営業利益



※会社業績及び予想は平成26年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

拠点一覧



従業員情報



社員数 **227** 人^{※1}

男性 **168** 人 女性 **59** 人

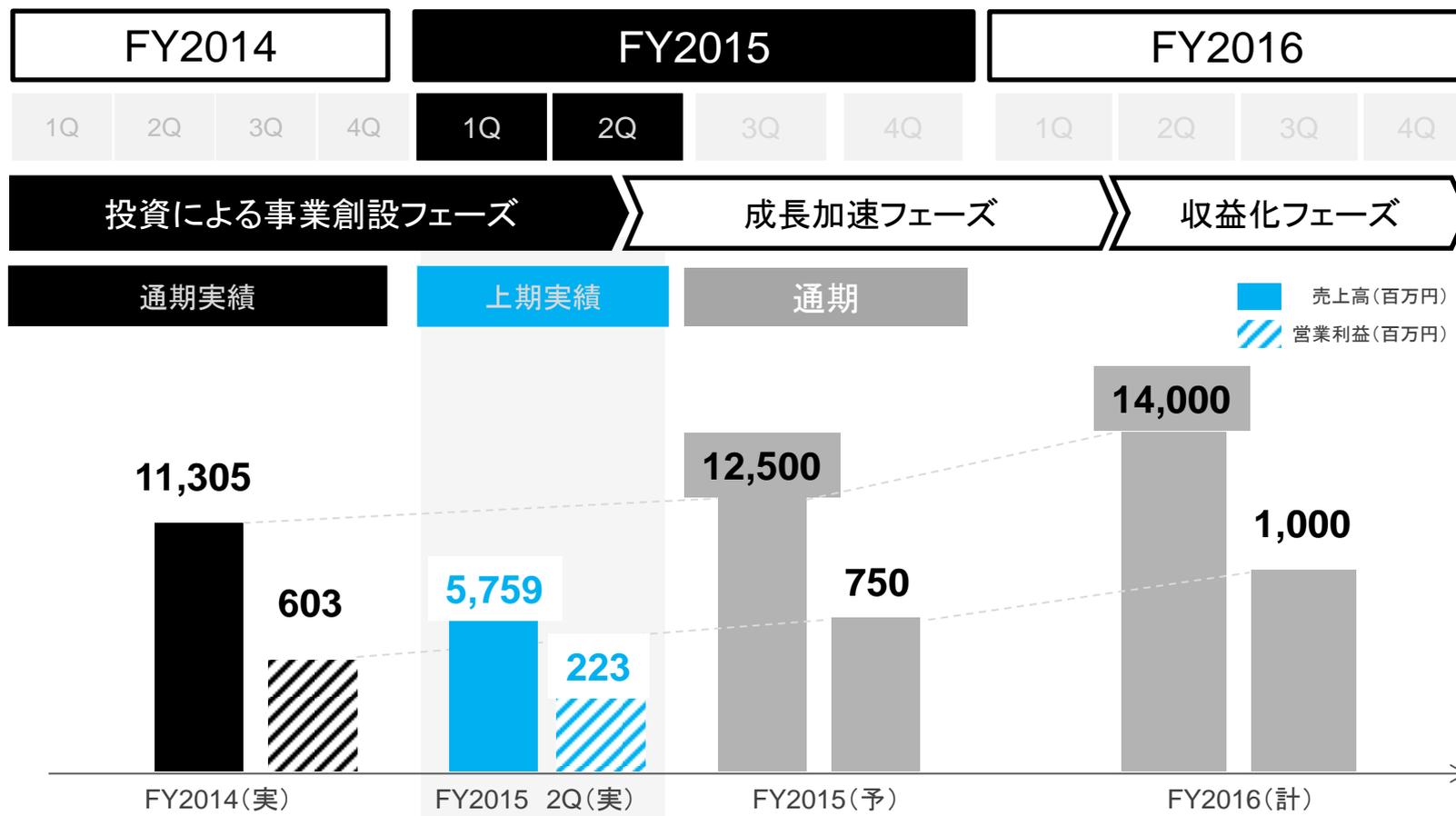
平均年齢 **30.3** 歳^{※2}

平均給与 **474.3** 万円^{※2}

※1 データ: FY2014実績(フルスピード連結)

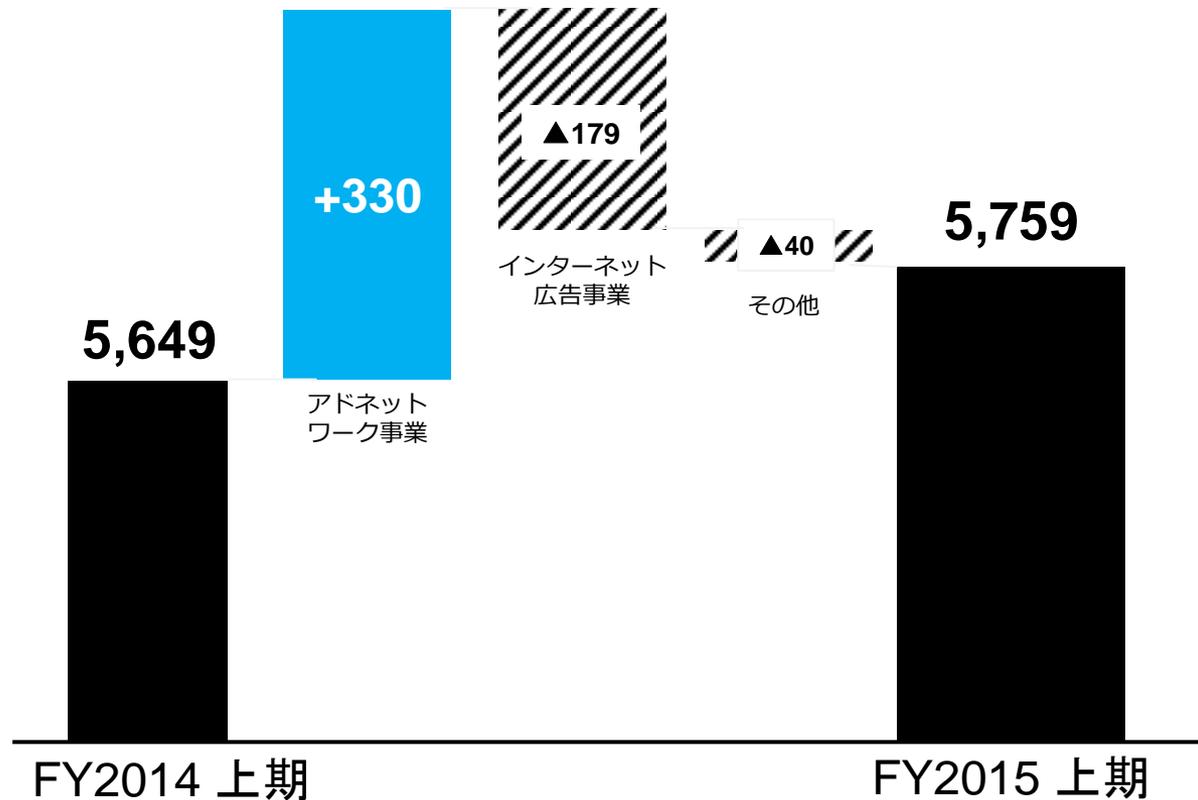
※2 データ: FY2014実績(フルスピード単体)

1Qに引き続き、2Qは売上高・営業利益ともに予想どおりに進捗
 投資フェーズと成長フェーズをまたぐ当期(FY2015)は下期偏重計画



収益構造転換の順調な進捗により、前年同期比+110百万円増

- ・注力事業のアドネットワーク事業は引き続き拡大(+330百万円)
- ・インターネット広告事業は、SEM広告ソリューションは構造転換による回復基調にあるものの減収

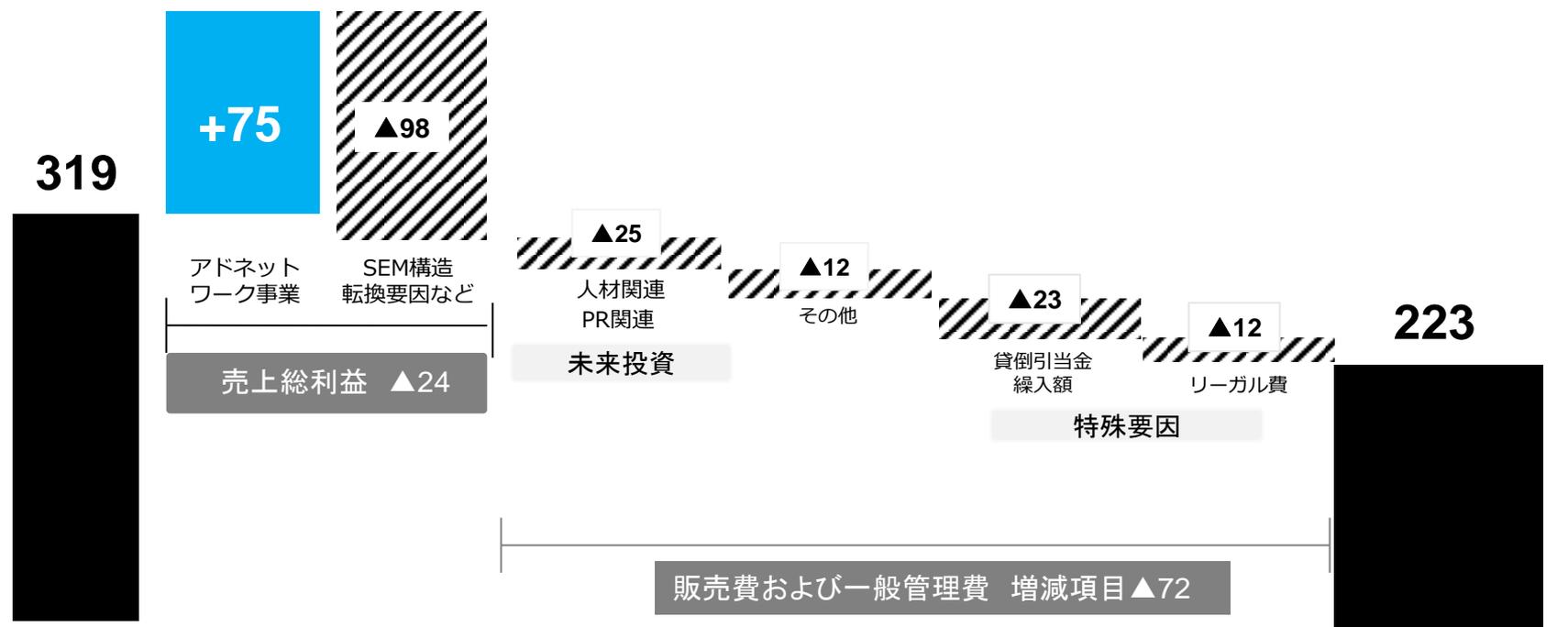


アドネットワーク事業の拡大などの事業構造転換 (▲24百万円減)

- ・注力事業のアドネットワーク事業は引き続き拡大(+75百万円)。
- ・SEM広告ソリューションは、コンテンツマーケティング型への転換が順調に推移するものの、前年同期比で減益。

人材投資・プロモーション投資 & 前年生じた費用戻入の反動(72百万円増)

- ・未来投資・・・人材投資、adtech関連など
- ・特殊要因・・・前年一時的に貸倒引当金の戻入が生じたことによる反動



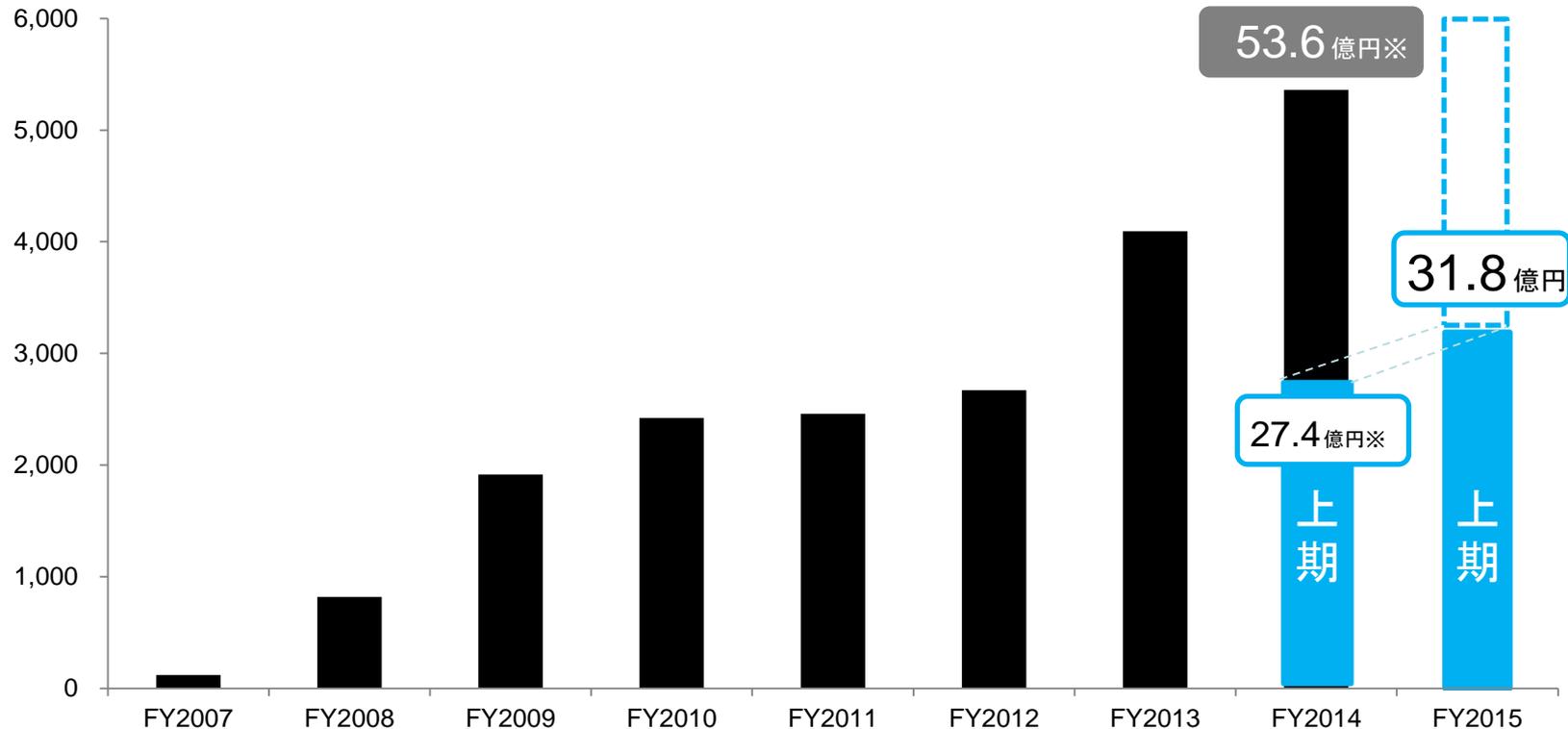
FY2014 上期

FY2015 上期

アドネットワーク事業の売上推移

(百万円)

※: 売上データはグループ間消去前の数値



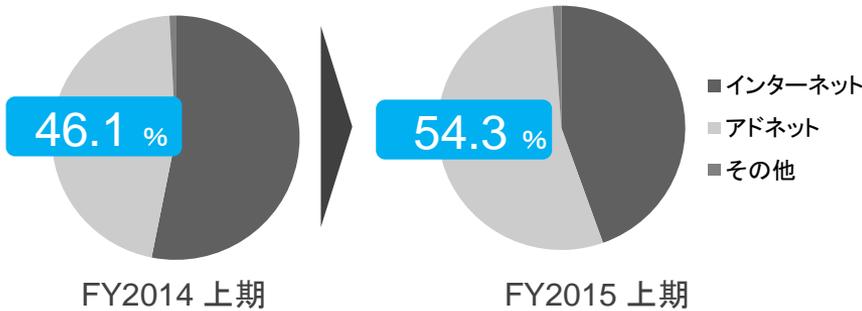
アドネットワーク事業は、前年同期比**116%増**、通期での大幅増収を見込む。
収益性が高く今後の成長領域であるアドネットワーク事業の更なる拡大を目指す。

エグゼクティブ・サマリー

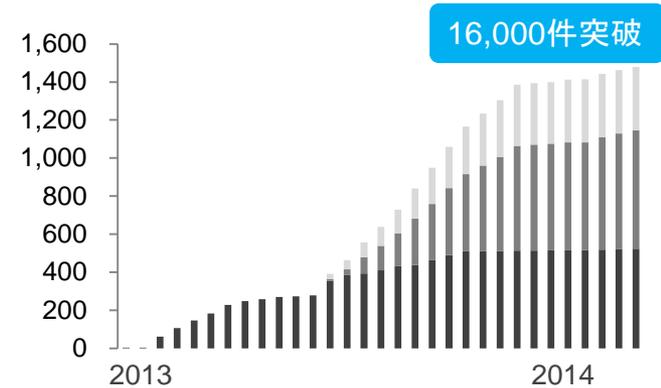
注力領域である、アドネットワーク事業及びグローバル展開において、
 予定通りの展開加速を実現

収益構造の転換

- 売上総利益の占有率



主力商品AdMatrix の拡販



グローバル・アライアンス展開

- 中国最大級の動画配信会社との提携による訪日インバウンドPR事業



成長分野への投資を目的とした資金調達

- 資金調達の額(差引取引額)と使途



※上記は、当初行使価額で全ての本新株予約権が行使されたと仮定した場合の金額です。
 ※詳細は、H26.8.18付「第三者割当による行使価額修正条項付第2回新株予約権の発行に関するお知らせ」をご参照ください



ビジネスの概況

Business Overview

1 グローバル展開・アライアンス戦略の開始

2 独自プラットフォーム戦略の展開加速

3 成長分野への投資を目的とした財務体質強化

1 グローバル展開・アライアンス戦略の開始

2 独自プラットフォーム戦略の展開加速

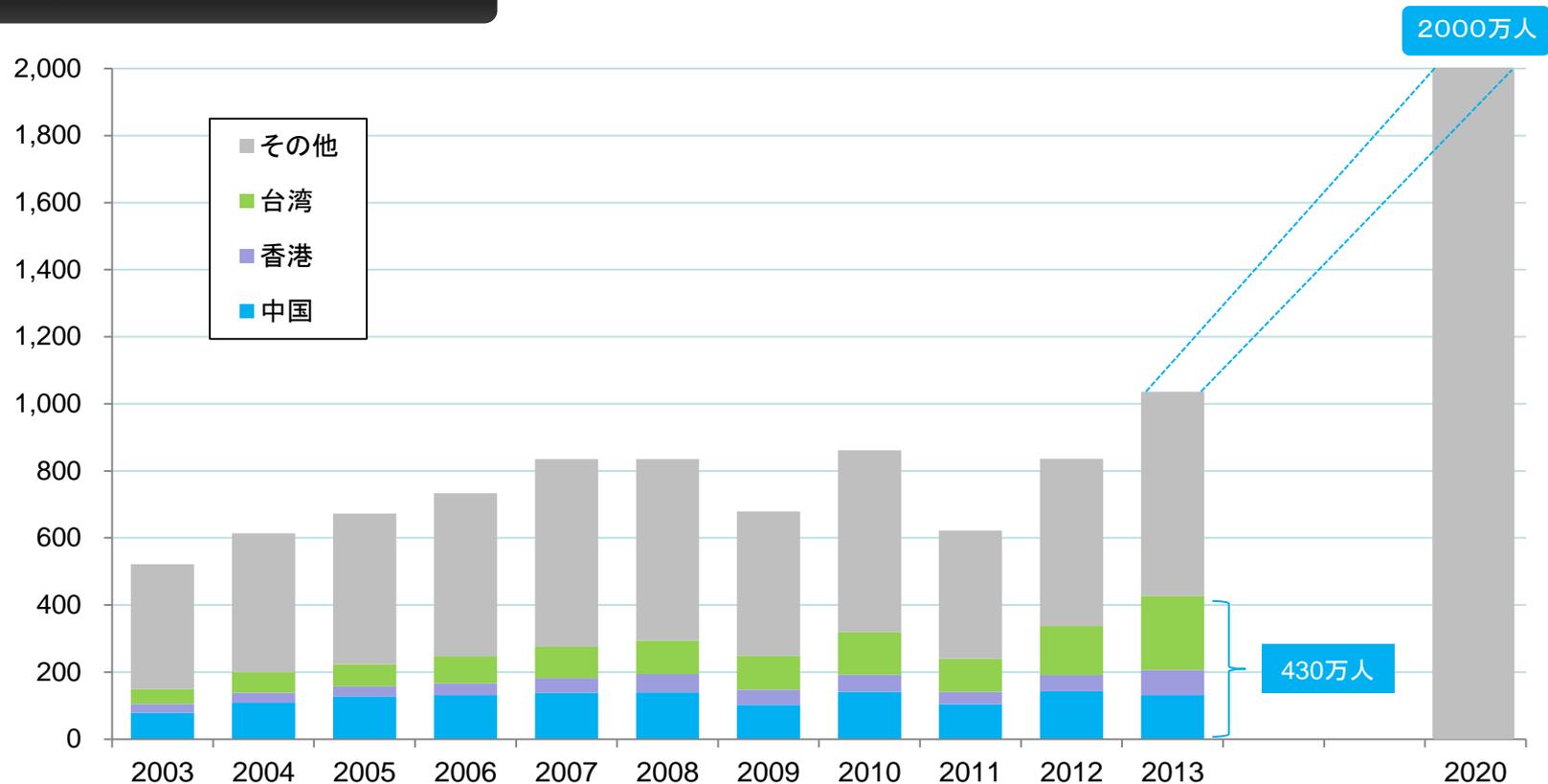
3 成長分野への投資を目的とした財務体質強化

訪日インバウンド市場

盛り上がる成長市場「訪日インバウンド市場」

2013年の訪日外国人旅行者数は、過去最多の1,036万人(*約430万人が中国関連)、観光庁は、**2020年までに2,000万人**の訪日旅行者を目指す。

訪日外国人旅行者数



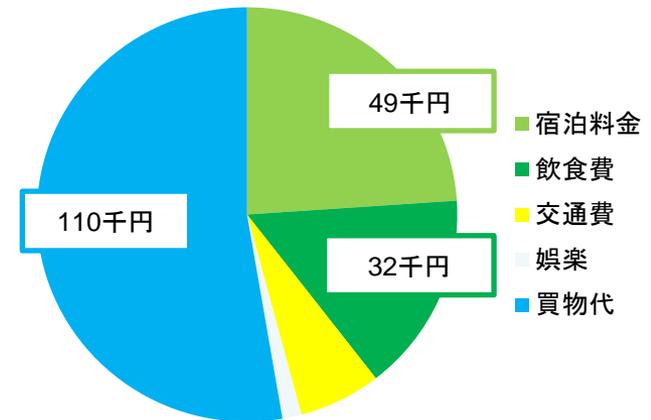
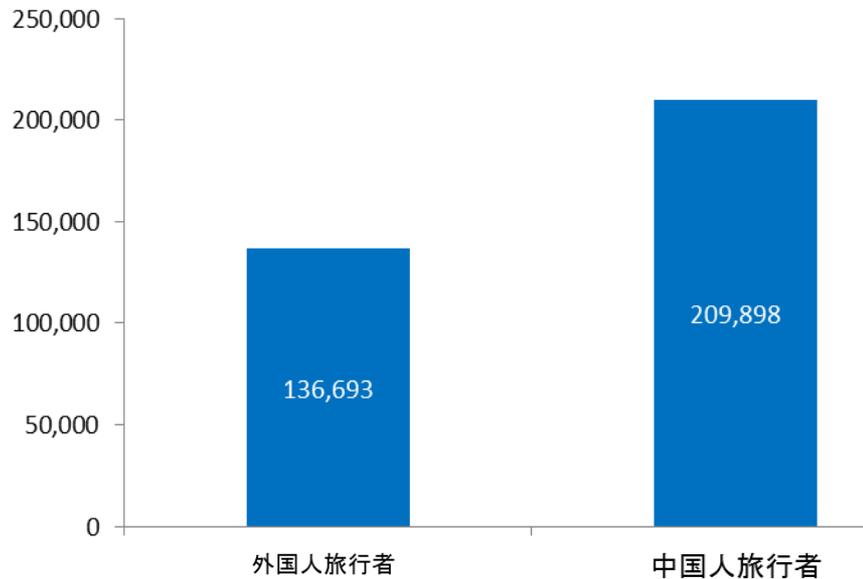
※観光庁データ参考

訪日中国人消費動向

中国観光客は高額消費傾向

2013年の外国人旅行者の平均消費額は136,693円、訪日中国人旅行者は209,898円

平均消費額



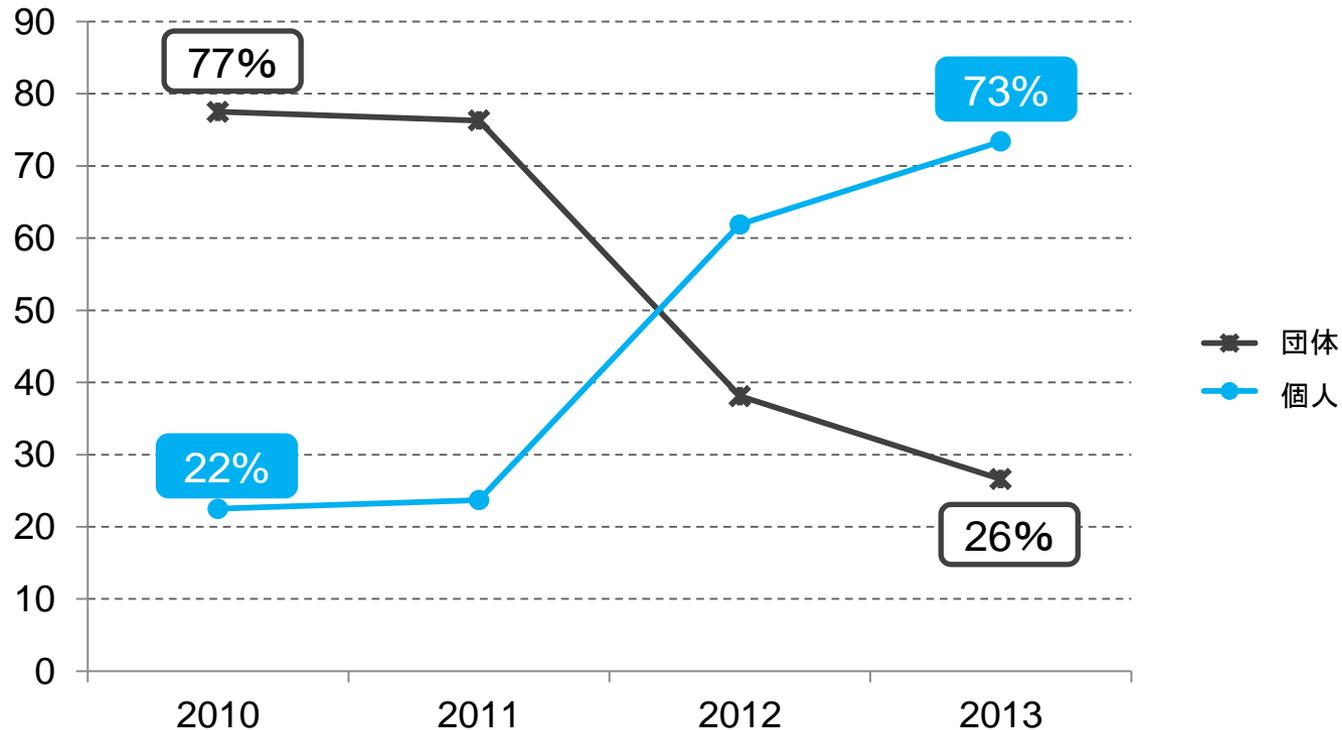
※観光庁データ参考

訪日中国人の旅行形態

団体ツアーから個人旅行へ

訪日中国人旅行者は、団体ツアー旅行数は減り、**個人旅行が主流**となります。
個人の選択自由度は増す一方で、企業は来店を誘導するPRが求められます。

訪日中国人の旅行形態の変化



※観光庁データ参考

訪日インバウンド PR動画事業

海外の**No.1**動画配信メディアとの戦略的事業提携により、**当社の独自海外メディアを保有し**、訪日観光客の送客・来店を促進するO2Oソリューション。



第1弾 中国
(2014/12)



企業名 : 愛奇艺 (iQiyi: アイチーイー)
URL : <http://www.iqiyi.com/>
概要 : 動画の配信サービス(ドラマ、映画、音楽、ファッション等)
リーチ層: 中国インターネットユーザー/約5億人
Unique Visitor: **4,500万人/日**
特徴 : 中国No.1検索エンジン「百度(Baidu)」傘下の動画サイト
特徴 : 中国No.1動画サイトとして、20~30代のパワー消費者層に人気。

事例：地方自治体との取り組み

「訪日インバウンド動画PR」第1弾 沖縄県

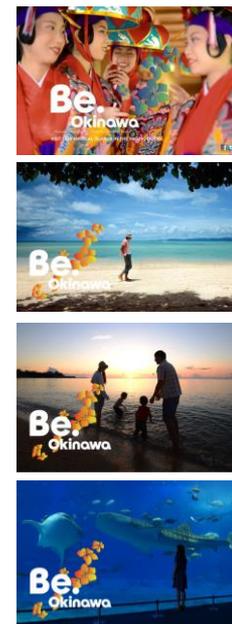
沖縄県が推進する「Be.Okinawa」ブランドとタイアップ
 沖縄観光動画を集めた「ジャパンチャンネル沖縄動画特集」をサービスイン、
 沖縄県への訪日観光客の送客・来店支援を行います。

アイチーイー「ジャパンチャンネル」
<http://www.iqiyi.com/lvyou/rblypd.html>



顧客紹介
 動画

「Be.Okinawa」沖縄グローバル観光ブランド
<http://beokinawa.com/>



②グローバル展開:フルスピード上海

中国(上海)事業における黒字化体質を実現

SEM広告ソリューション

今期2Qより単月黒字化を実現。

日系企業とローカル企業の両軸での顧客獲得が順調に伸長。

オフィス拡張

事業拡張のため、オフィス移転を実施



海外展開の状況（現状・今後）

フルスピード拠点

中国拠点
（上海 Shanghai）

日系企業、現地企業の両軸での事業展開による、業容拡大を目指す。

Fukuoka
Tokyo
Osaka

アジア支援事業部/本社（東京）

「訪日インバウンド動画PR」などの
アジア富裕層向け越境O2Oサービスを水平展開

東南アジア拠点
（予定）

展開する国・設立時期については、市場の潜在成長性と社会情勢等を勘案し、検討。同時に、現地企業との業務・資本提携による展開を模索。

1

グローバル展開・アライアンス戦略の開始

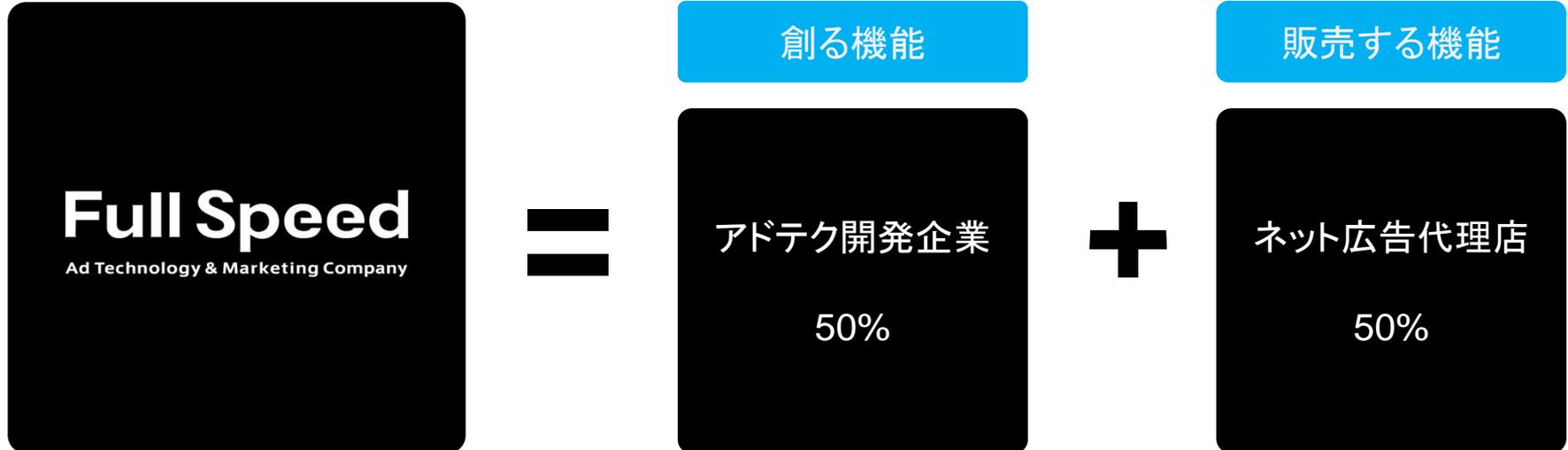
2

独自プラットフォーム戦略の展開加速

3

成長分野への投資を目的とした資金確保

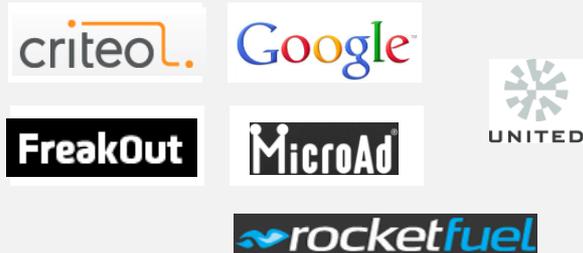
“**AdTechnology & Marketing Company**”として、“**創る機能**”と“**販売する機能**”の両軸で攻める国内唯一の**ハイブリット型ネット広告代理店**を目指す。



“ハイブリット型ネット広告代理店”の立ち位置

2つの事業領域における競合企業

アドテク開発企業



ネット広告代理店

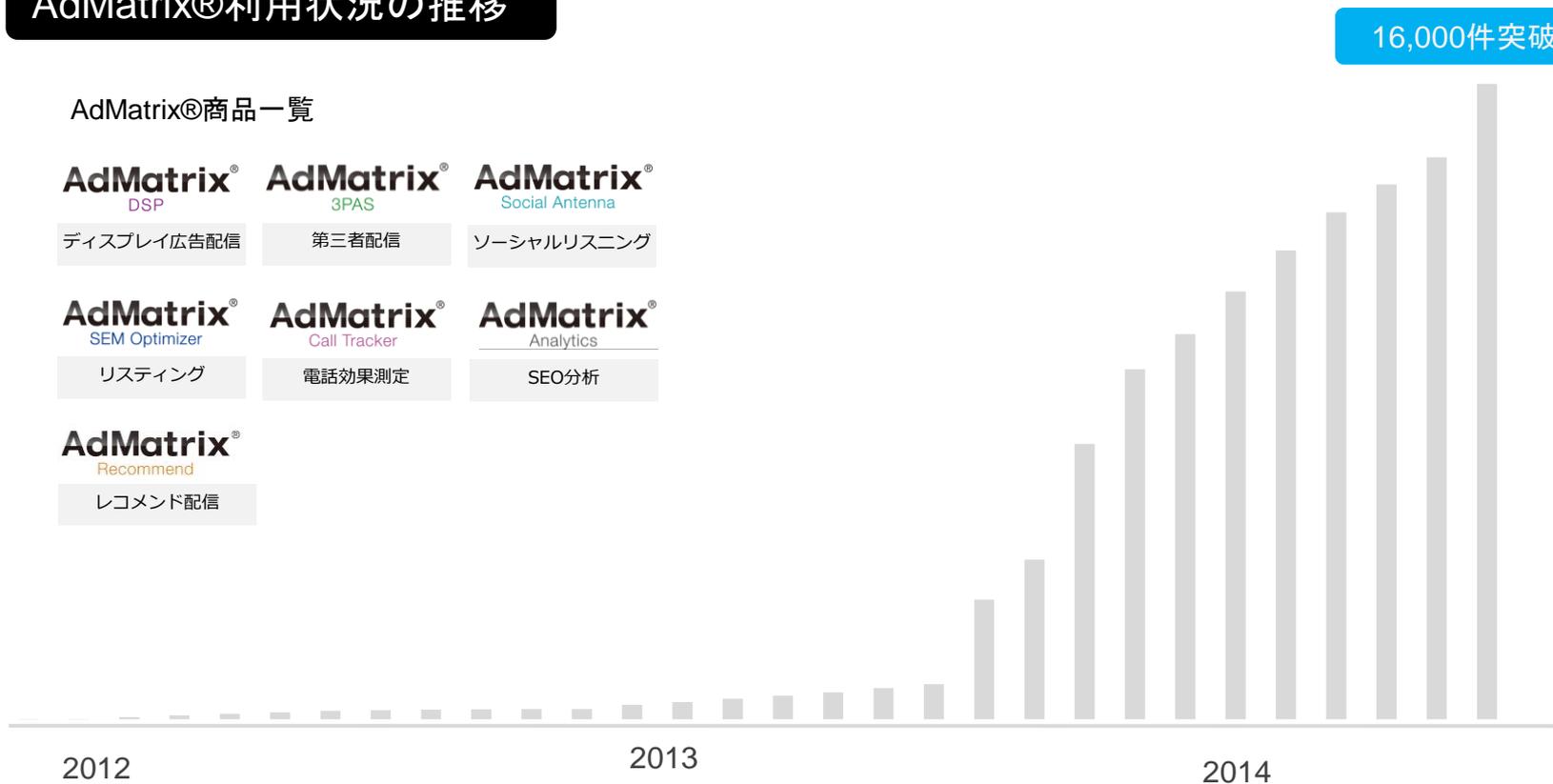


ネット広告代理店の1社として、また自らが**国内No.1のアドテクの開発企業**となることで、自らが開発したソリューションサービスを世の中に提供できる企業に転換する。

AdMatrix®利用状況の推移

AdMatrix®商品一覧

AdMatrix® DSP ディスプレイ広告配信	AdMatrix® 3PAS 第三者配信	AdMatrix® Social Antenna ソーシャルリスニング
AdMatrix® SEM Optimizer リスティング	AdMatrix® Call Tracker 電話効果測定	AdMatrix® Analytics SEO分析
AdMatrix® Recommend レコメンド配信		



わずか2年程で、AdMatrix®シリーズ累計16,000件に達するなどブランドも浸透しつつあり、下期以降の拡販に向けた取り組みを一層強化する方針。

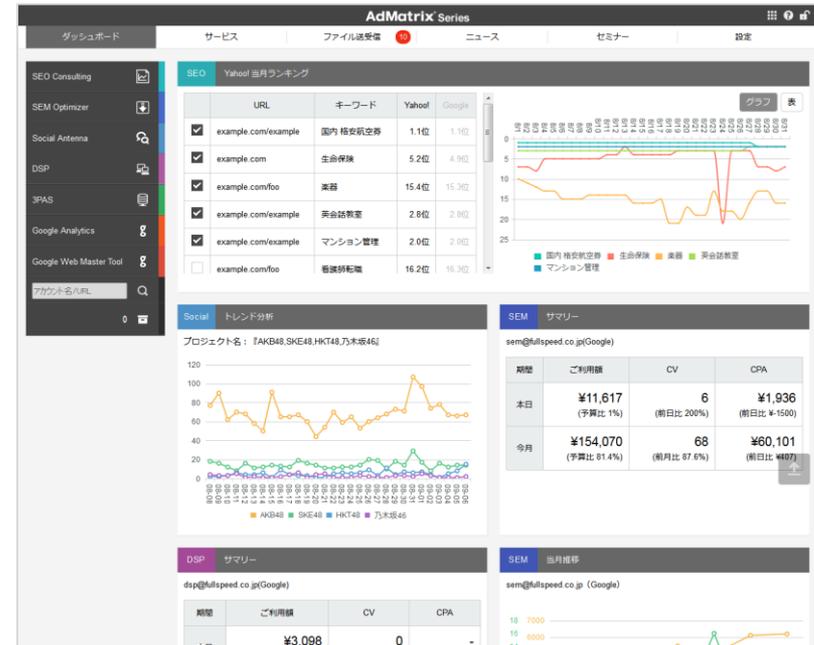
独自プラットフォーム戦略の進捗②

AdMatrixシリーズ、各プロダクトの最新データを一元管理し、可視化する、**ダッシュボード機能**を開発。(近日開始予定)

AdMatrixシリーズ



ダッシュボード機能の追加(平成27年1月予定)



リスティング広告やディスプレイ広告などの各広告出稿状況から、サイトへの流入数、ソーシャルでの伝播状況などをモニタリング。

「AdMatrix® DSP」独自機能を搭載

SSP接続による**700億imp以上**の広告在庫、**独自ターゲティング**など、機能強化のための開発を継続。

SSP接続による配信面の強化



広告インプレッション在庫は
700億imp以上

独自ターゲティング機能の強化

主な基本機能	リマインドターゲティング配信
オフィスタargeting	ブロード配信
Weather配信	キーワード配信
地域ターゲティング	スマホ配信



AdMatrix Social Antenna

口コミ解析から風評監視を、月額29,800円からご利用いただける、
口コミ解析ツール「AdMatrix Social Antenna」の全解析モードがラインナップ。

ベーシック解析

競合比較解析

リアルタイム解析

テレビデータ解析

CSV解析

風評監視



ブログやTwitterだけでなく、掲示板やニュースサイト、テレビメタ情報(テレビ番組、CM)のメディアのほか、アンケートなどのCSVデータの解析も可能。口コミデータ解析に加え、風評監視にも対応。すべてのプランで、すべてのメディア、すべての機能をご利用可能。

ソリューション領域のさらなる拡大

フルスピードのソリューション領域

現在の事業ポートフォリオ領域					
	SEO	リスティング 広告	アフィリエイト	第三者配信 NEW	DSP NEW
当社の立ち 位置	1~3位 ※1 自社開発	7~8位 ※1 代理店モデル	4~6位 ※1 自社開発	1位 ※1 自社開発	4~7位 ※1 自社開発
売上貢献度	中	大	大	小	大
粗利率	高	低	高	高	高
市場成長の 見通し					

+

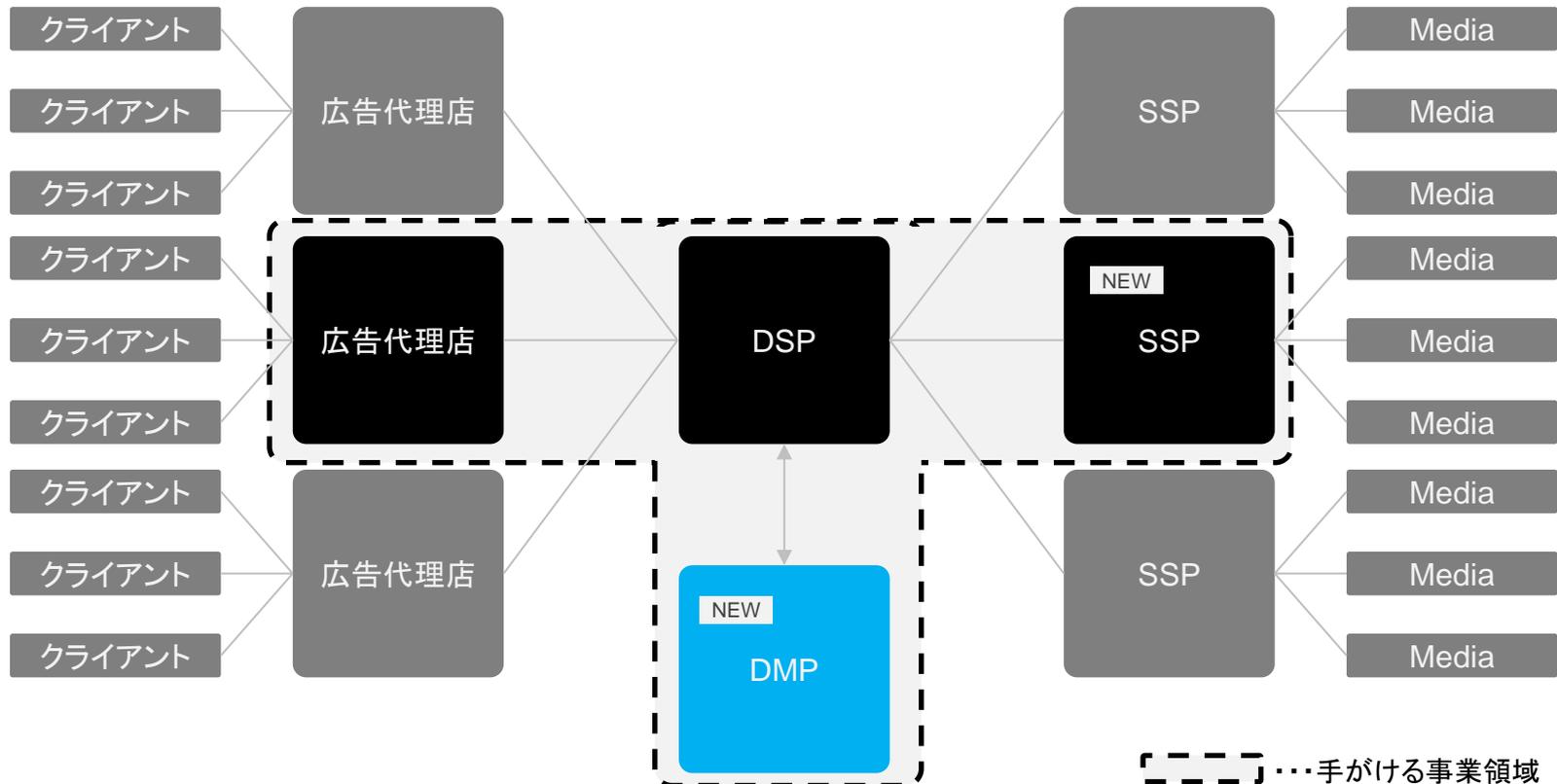
今期拡大予定の 事業領域	
ソーシャル・ メディア NEW	コンテンツ・ マネジメント NEW
自社開発	自社開発
小~中	小~中
高	高

※1...IR情報等に基づく自社調べ

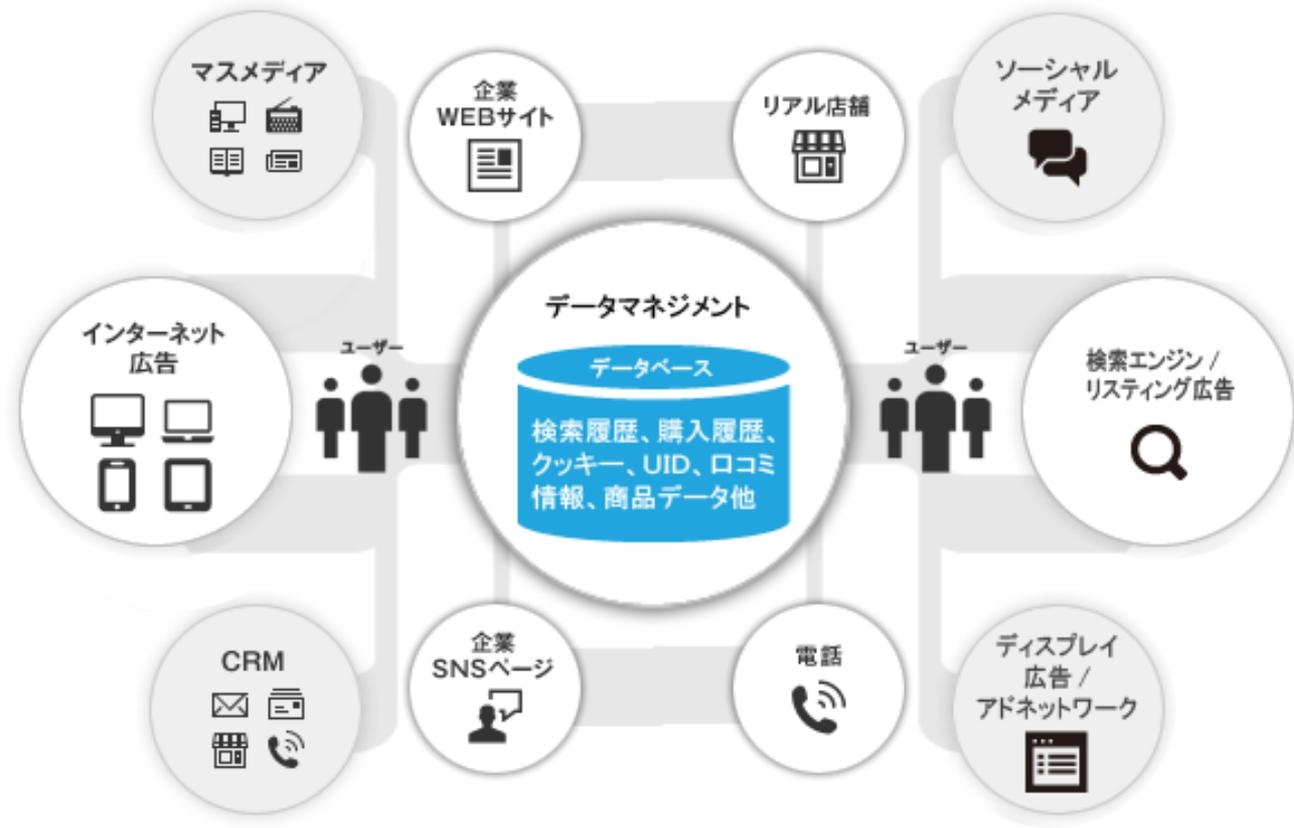
事業拡大戦略

既存のアドネットワークとの連携を今後強化するとともに、企業あるいは将来のアライアンス先が保有する**大規模データを活用したDMP領域にも事業投資を拡大**することにより、配信可能な面の拡張と、広告配信の精度向上を目論む。

フルスピードの事業領域(将来)



AdMatrix®を用いたデータマネジメントビジネスへ



1

グローバル展開・アライアンス戦略の開始

2

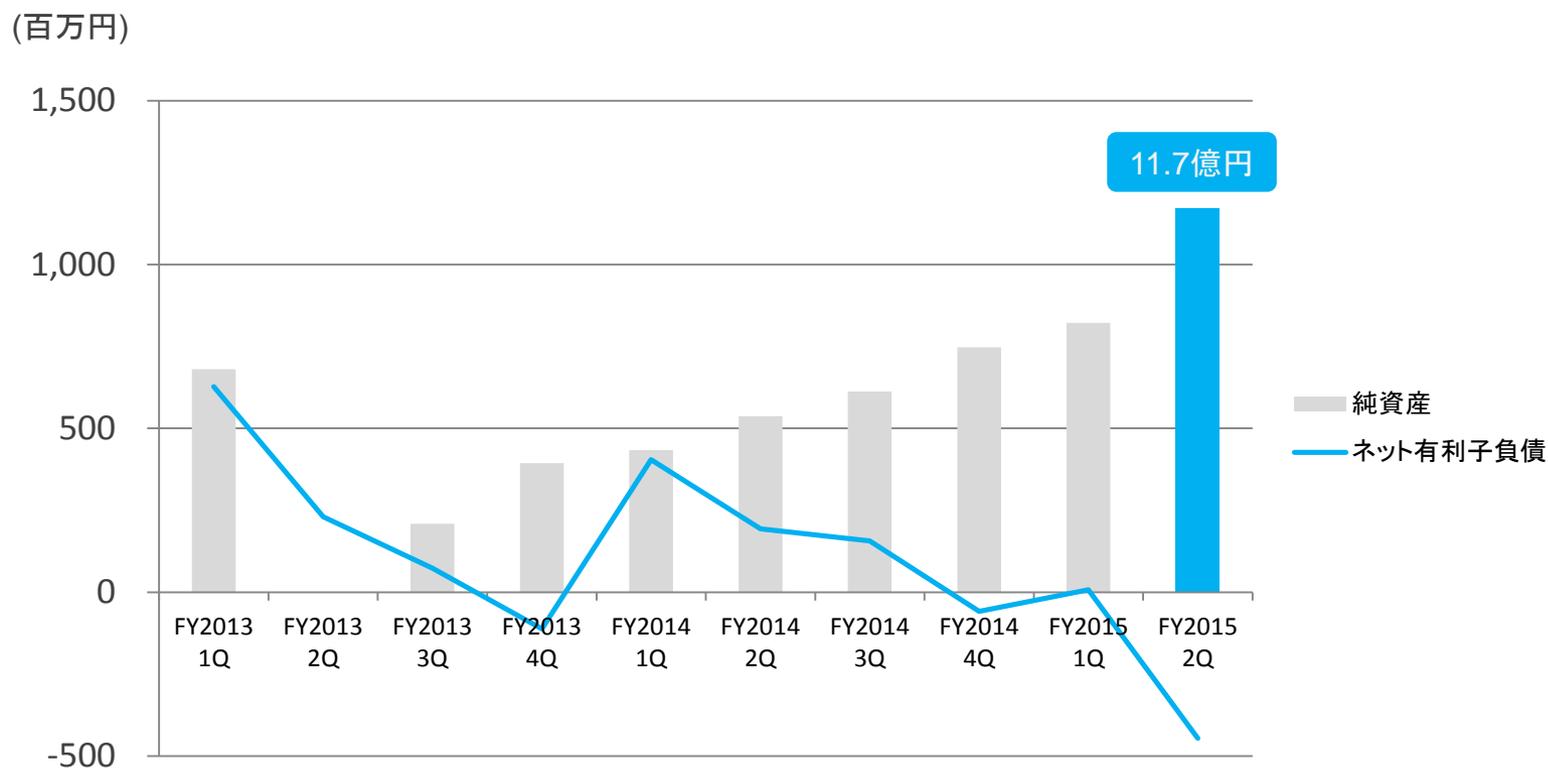
独自プラットフォーム戦略の展開加速

3

成長分野への投資を目的とした財務体質強化

営業CFや投資有価証券の売却などにより、純資産およびネット有利子負債は大幅改善。

純資産およびネット有利子負債



第三者割当による新株予約権

アドテク領域、海外展開などの成長分野に充当し、事業規模拡大を加速させる

資金調達の額(差引取引額)

21.18億円

新株予約権の発行個数

24,000個

最大希薄化は15.72%

※上記は、当初行使価額で全ての本新株予約権が行使されたと仮定した場合の金額です。



FY2015 2Q決算の状況

FY2015 2Q Financials

連結P/Lサマリー

アドネットワーク事業の拡大により、売上高は増収。営業減益も計画通り着地。当期純利益は、投資有価証券の売却などにより増益で着地。

連結P/Lサマリー

	2014年4月期	2015年4月期	対前期 増減額
	2Q	2Q	
	2013/5/1~ 2013/10/31	2014/5/1~ 2014/10/31	

(単位:百万円)

売上高	5,649	5,759	+110
売上原価	4,591	4,724	+133
原価率	81.3%	82.0%	
売上総利益	1,058	1,034	-24
販売費及び一般管理費	739	811	+72
販管費比率	13.1%	14.1%	
営業利益	319	223	-96
営業利益率	5.6%	3.9%	
営業外収益	0	5	+5
営業外費用	16	29	+13
経常利益	303	199	-104
経常利益率	5.4%	3.5%	
特別利益	0	103	+103
特別損失	98	-	-98
当期純利益	151	215	+64
当期純利益率	2.7%	3.7%	

■セールスマックスが影響

市場拡大とともにアドネットワーク事業が引き続き拡大し、SEM広告の戦略転換の影響による減益を吸収し、増収。

■営業利益も、計画どおりの着地

前年一時的に貸倒引当金の戻入が生じたことによる反動(前年同期比 +23百万円)の影響あり。

■投資有価証券の売却、前期発生した特損が剥落により、最終利益は増益

利益創出体質となったことで、引き続き財務の健全化が進む
 ~自己資本比率 前期末22.8%⇒今期2Q 33.0%

連結B/Sサマリー

資産の部

	2014/4 (期末)	2015/4 (1Q末)①	2015/4 (2Q末)②	②-①
現金及び預金	1,259	1,196	1,521	325
売掛金	1,415	1,474	1,337	△ 137
その他	196	206	199	△ 7
流動資産	2,872	2,877	3,057	180
有形固定資産	92	92	102	10
無形固定資産	199	222	252	30
投資その他の資産	115	112	109	△ 3
固定資産	406	427	464	37
総資産	3,279	3,305	3,521	216

負債・純資産の部

(単位:百万円)

	2014/4 (期末)	2015/4 (1Q末)①	2015/4 (2Q末)②	②-①
買掛金	1,046	1,019	963	△ 56
短期借入金	782	882	682	△ 200
1年内返済予定の長期借入金	347	268	355	87
その他	283	258	306	48
流動負債	2,459	2,427	2,306	△ 121
長期借入金	72	55	37	△ 18
その他	0	0	4	4
固定負債	72	55	41	△ 14
負債	2,532	2,482	2,348	△ 134
資本金	799	799	898	99
資本剰余金	770	770	869	99
利益剰余金	△ 829	△ 754	△ 614	140
株主資本	740	815	1,154	339
少数株主持分	0	0	0	0
その他	6	6	18	12
純資産	747	822	1,173	351
負債純資産	3,279	3,305	3,521	216



各事業のトピックス

Topics by Segment



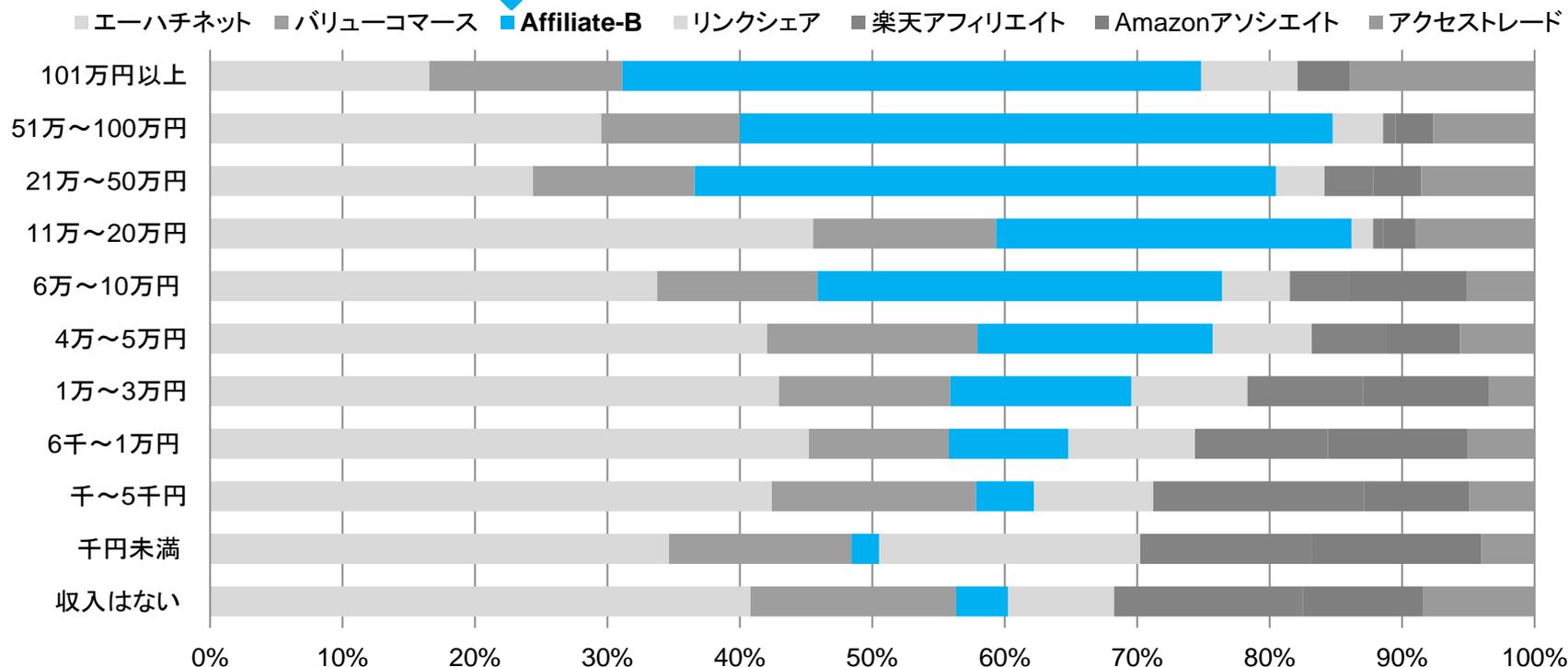
スマホ・PC・タブレット展開で好調に推移

～パートナーサイト数・・・約35万サイト以上(前年比10%UP)

～取り扱いPR数・・・前年比15%UP

高収入アフィリエイター様からの満足度 第1位

アフィリエイトマーケティング協会



Freebitとの共同した動画広告の新サービスを開発中



×



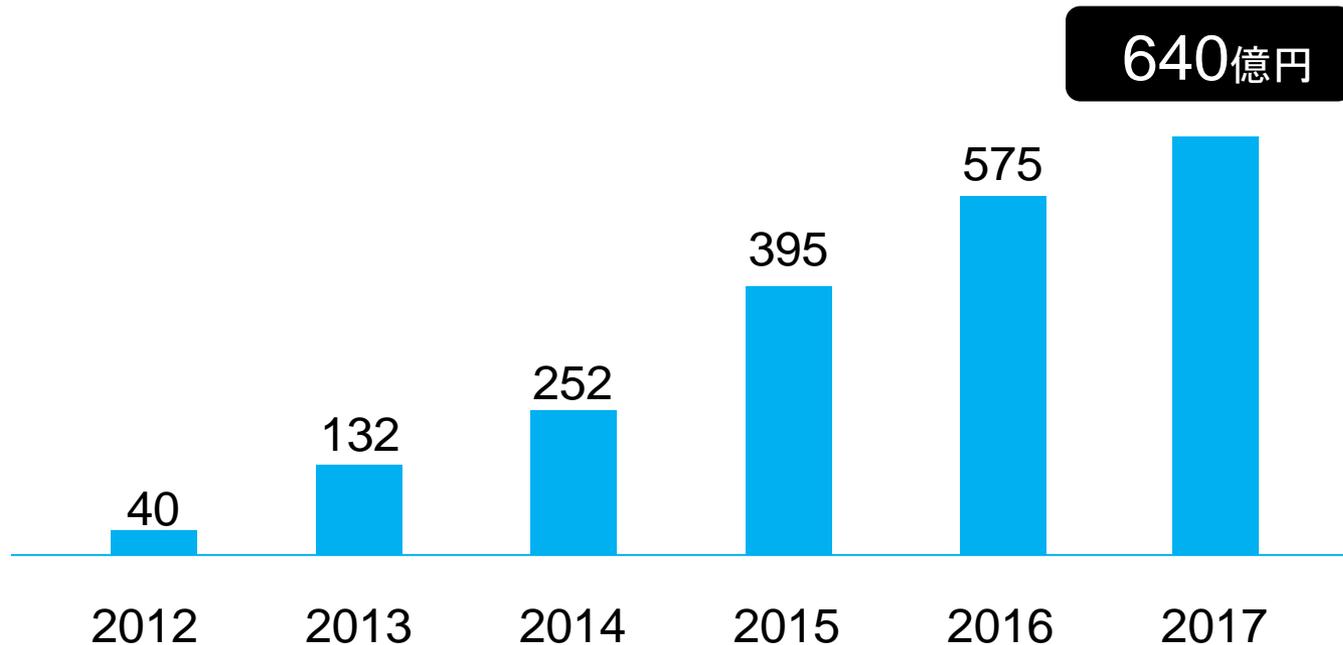
 freebit

Full Speed Inc.

親会社フリービットとの協働による「スマホキャリア」×「アドテク会社」の強みを活かした新しい広告の仕組み創りを進める。

国内の動画広告市場は、2013年時点で132億円、2017年では640億円と市場規模の急拡大が見込まれる。

日本の動画広告市場



出典: 2014年3月シードプランニング調べ



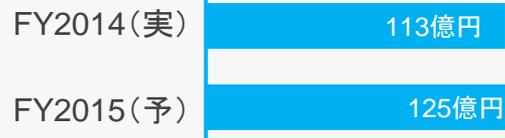
フルスピード社 会社概要

About Full Speed Group

- 会社名 株式会社フルスピード | Full Speed Inc.
- 事業内容 アドテクノロジーの開発及びインターネットマーケティング事業
- 設立 2001年1月4日
- 資本金 8.9億円
- 上場月 2007年8月（東証マザーズ上場）
- 年商 113億円（※2014年4月期 連結売上実績ベース）

会社業績

売上高



営業利益



※会社業績及び予想は平成26年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

拠点一覧



従業員情報



社員数 227人^{※1}

男性 168人 女性 59人

平均年齢 30.3歳^{※2}

平均給与 474.3万円^{※2}

※1 データ: FY2014実績(フルスピード連結)

※2 データ: FY2014実績(フルスピード単体)

2001年1月	Webサイトの企画・制作・運営を目的として、京都府城陽市に有限会社エクシスを設立
2002年6月	成功報酬型SEOサービスの販売を開始
2004年10月	Google, Inc.と販売代理店契約締結
2006年2月	ヤフー株式会社(旧:オーバーチュア株式会社)と代理店契約締結
2007年8月	東京証券取引所マザーズ市場に株式上場
2008年7月	インターネットマーケティング事業の強化を目的として、株式会社ファンサイドを子会社化
2010年1月	顧客企業に対する総合的な支援を目的とし、企業を対象とした有料会員制サービス「フルスピードクラブ」を開始
2010年4月	アフィリエイト広告事業(「アフィリエイトB」)を分社化し、株式会社フォーイットを設立
2010年6月	フリービット株式会社(当社の筆頭株主)との間で、資本業務提携契約を締結
2012年6月	広告運用統合プラットフォーム「AdMatrix(アドマトリックス)シリーズ」を開発
2012年7月	親会社フリービットが所在する同一ビル内に本社を移転(渋谷区)
2013年11月	普通株式1株を100株に株式分割、単元株制度を採用(1単元の株式数を100株)

株式数・株主数

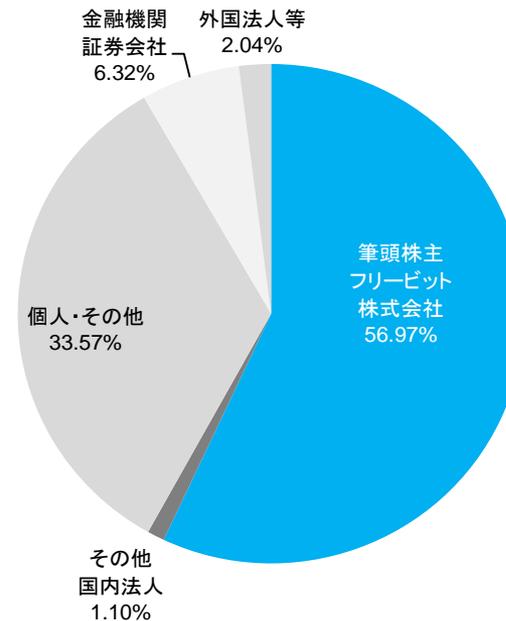
発行可能株式総数	20,000,000株
発行済み株式数	15,571,000株
株主数(議決権あり)	7,379名

上位株主(1位~10位)の状況

2014年10月31日現在

順位	株主氏名	所有株数	比率
1	フリービット株式会社	8,870,400	56.97%
2	一般個人株主	243,000	1.56%
3	松井証券株式会社	218,100	1.40%
4	日本証券金融株式会社	149,900	0.96%
5	株式会社SBI証券	133,400	0.85%
6	バンクオブニューヨークジーシーエム クライアントアカウントジエイピーアー ルディアイエスジーエフイーエイシー	96,400	0.61%
7	一般個人株主	65,000	0.41%
8	一般個人株主	60,400	0.38%
9	株式会社サン・クロレラ	60,000	0.38%
10	サン・クロレラ販売株式会社	60,000	0.38%

所有者別株主構成





中期経営計画サマリー

Mid-Term Strategy Summary

フルスピードグループの企業理念

フルスピードの企業理念

インターネットマーケティング業界において、優れたサービスの開発と高い顧客満足を提供する会社になることで、顧客、社員、株主、そして社会に貢献すること。

差別化戦略

独自のアドテク(アド・テクノロジー)による差別化を基本戦略とする

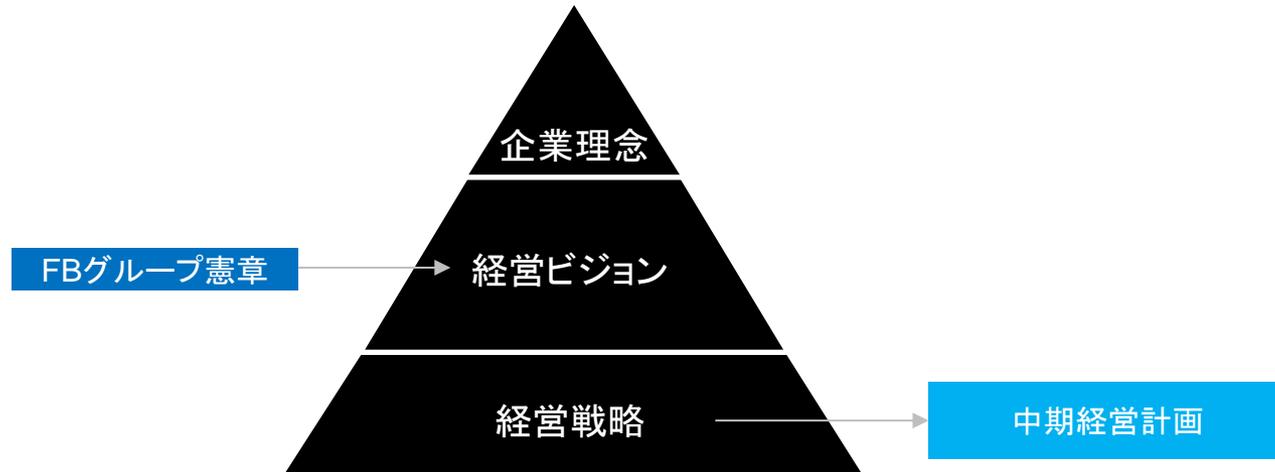
顧客至上主義

徹底した顧客満足度向上を迫及し、高付加価値サービスを提供する

社会との調和

社会に対する貢献度が高く、高い志をもって取り組める事業を行う

フルスピードの理念体系

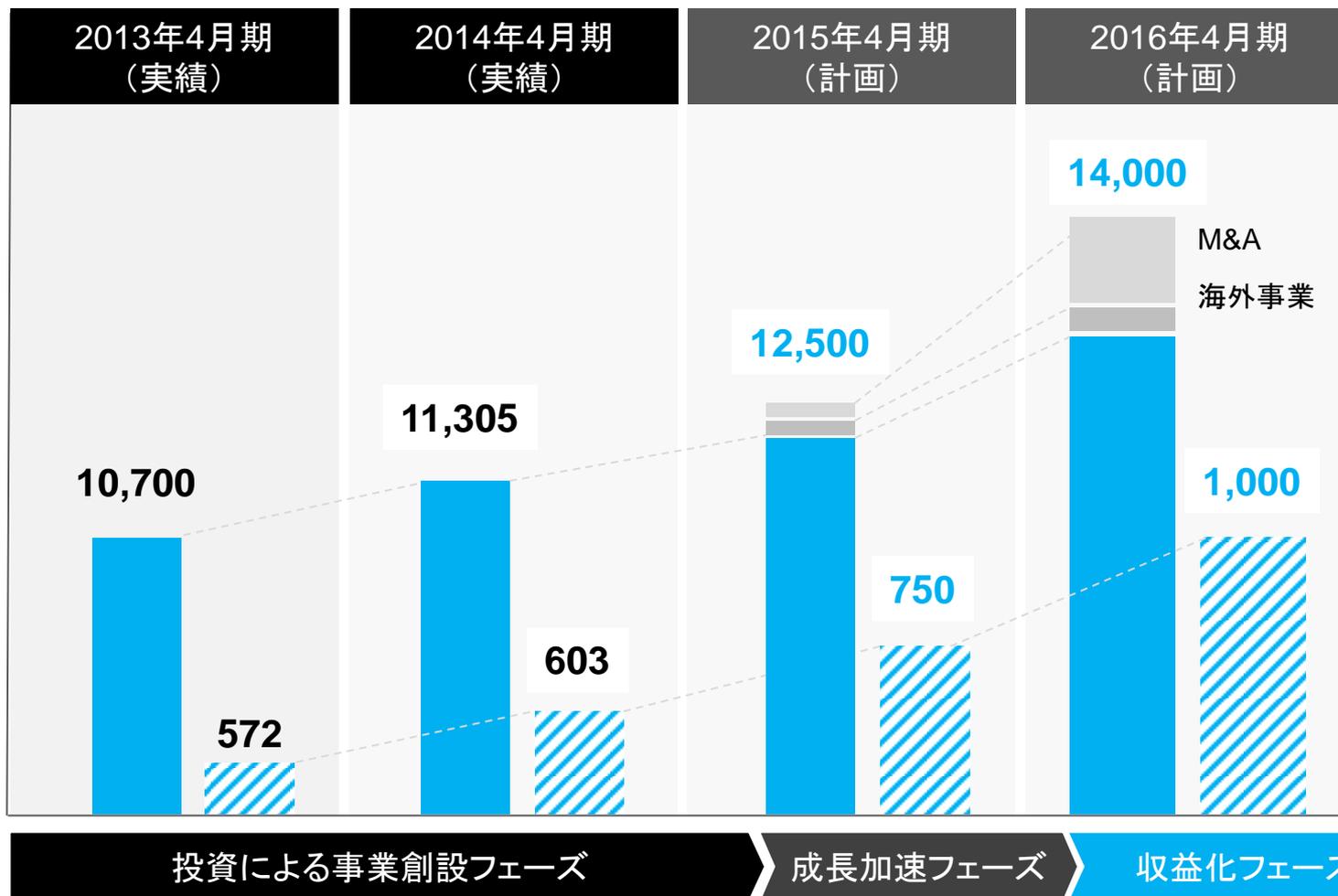


3つの理念体系

フルスピードグループの理念体系は、フルスピードが掲げる「企業理念」、フリービットグループの「FBグループ憲章」に基づく「経営ビジョン」、そしてその双方を実現していくための中期経営計画を含む「経営戦略」の三つのレイヤーによって構成されています。

フルスピード三ヶ年計画

■ 連結・売上高(百万円)
 ▨ 連結・営業利益(百万円)

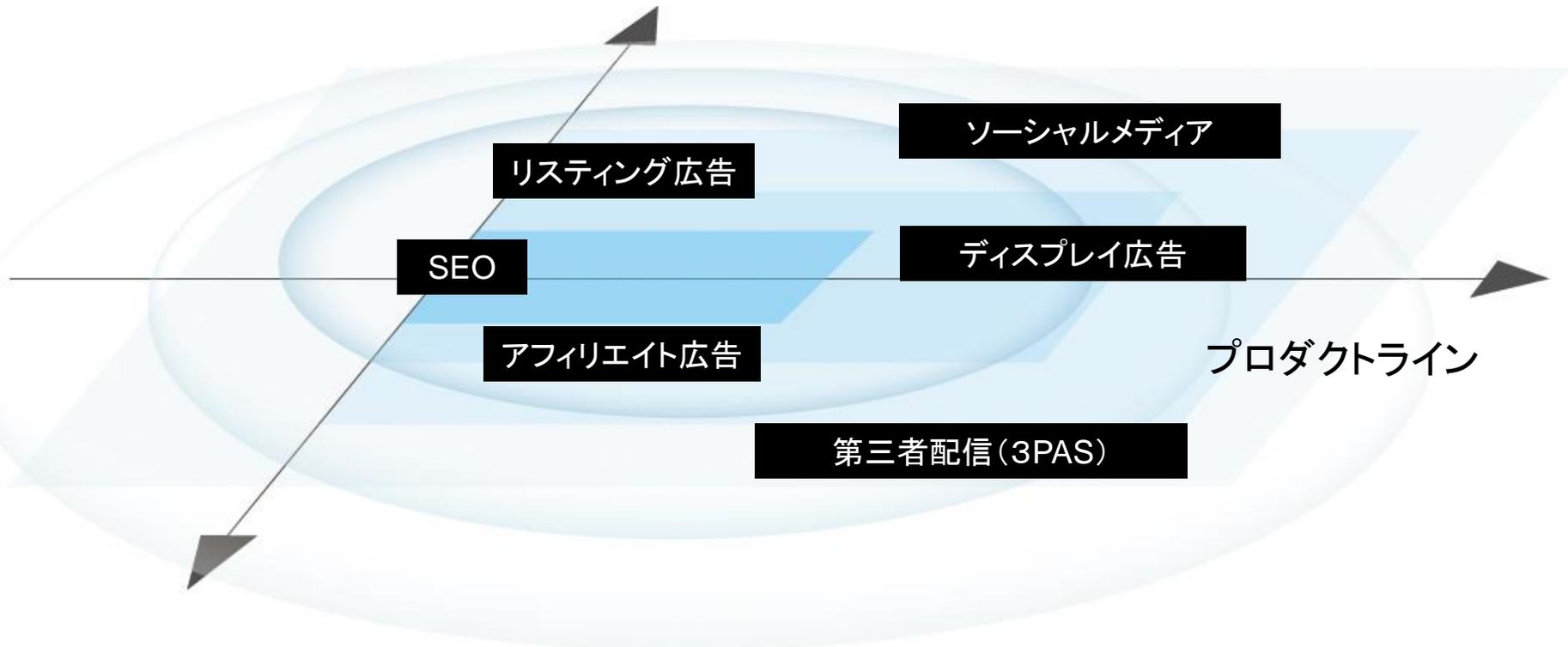


フルスピードのプロダクト戦略

プロダクトとしては、既存のコア事業に加え、「ディスプレイ広告」「ソーシャル・メディア」「第三者配信(3PAS)」の領域を深耕する方針。

水平レイヤーへの展開

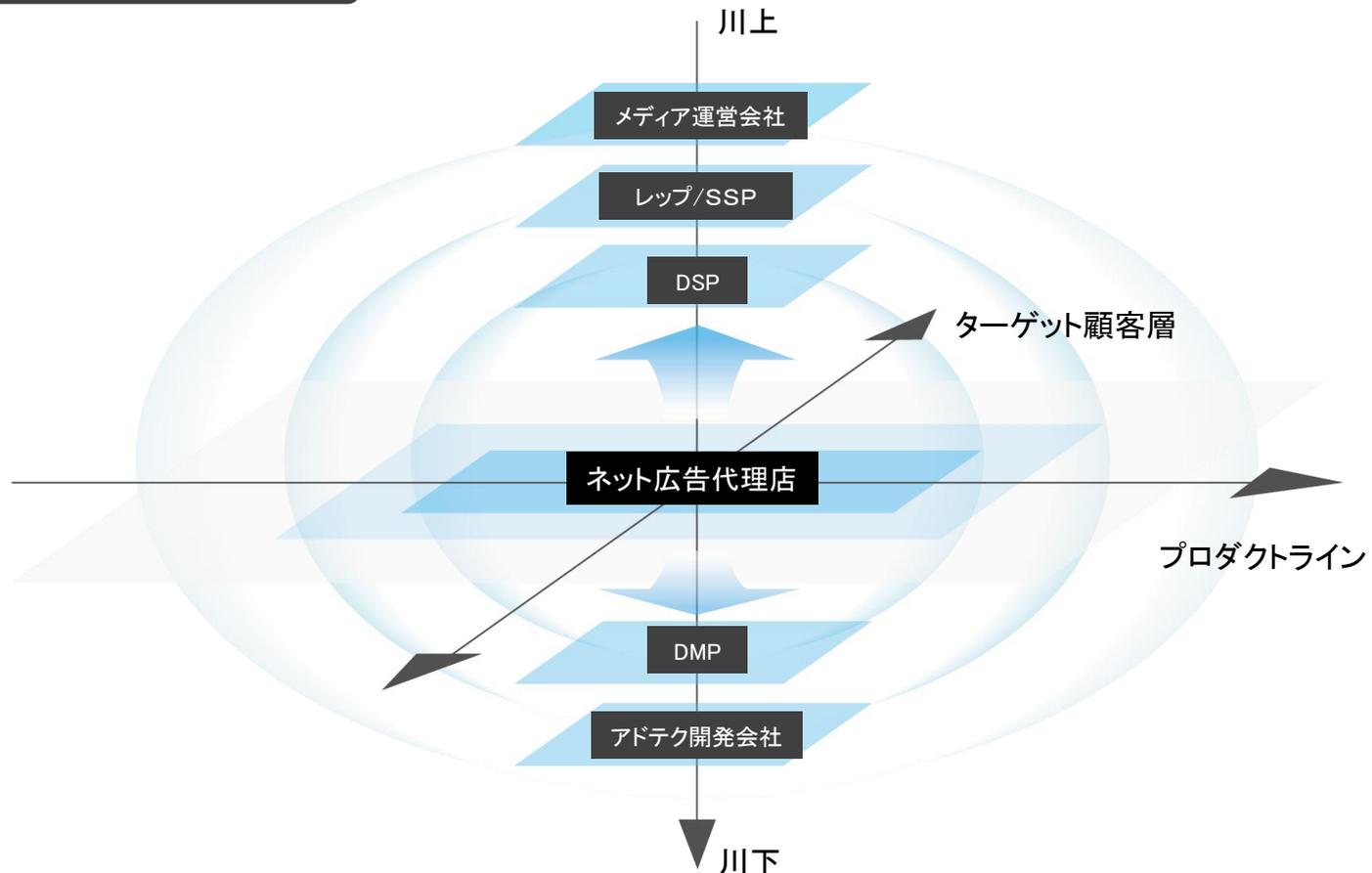
ターゲット顧客層



フルスピードのバーティカル戦略

ネット広告代理店を主たるドメインとし、川上（メディアサービス）や川下（テクノロジー開発）への領域拡大を図り、ここ数年で、垂直レイヤーへの展開を開始する。

垂直レイヤーへの展開



人材マネジメントにおけるコンセプト

尖り人材を増やす。

ただのスペシャリストは要らない。

伸びていくヒトに惜しみなく機会を与える。

採用コンセプト の考え方

単一のスキルセットに偏る人材は要らない。

少なくとも2つ以上の専門性の高いスキルセットを既に持っている人材を採用、あるいは将来持てるポテンシャル人材を採り、育成する。

“ ヒトの心理 ” と

“ 広告技術 ” を繋ぐ。

Full Speed Inc.

Disclaimer

免 責 事 項

本資料は株式会社フルスピードの2015年4月期第2四半期の業績及び経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載した意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではなく、また、今後、予告なく変更することがあります。